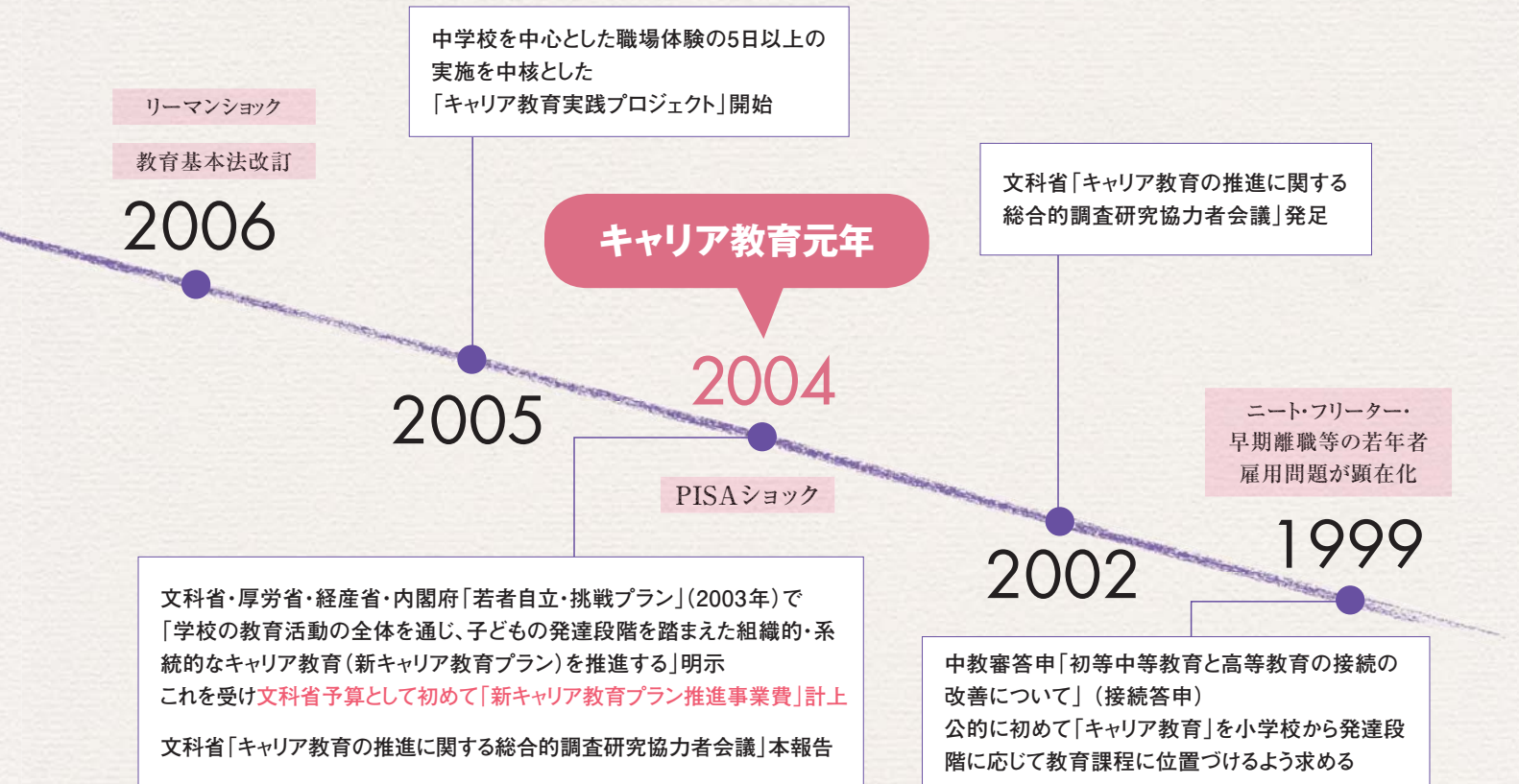


この10年の検証と今後の展望

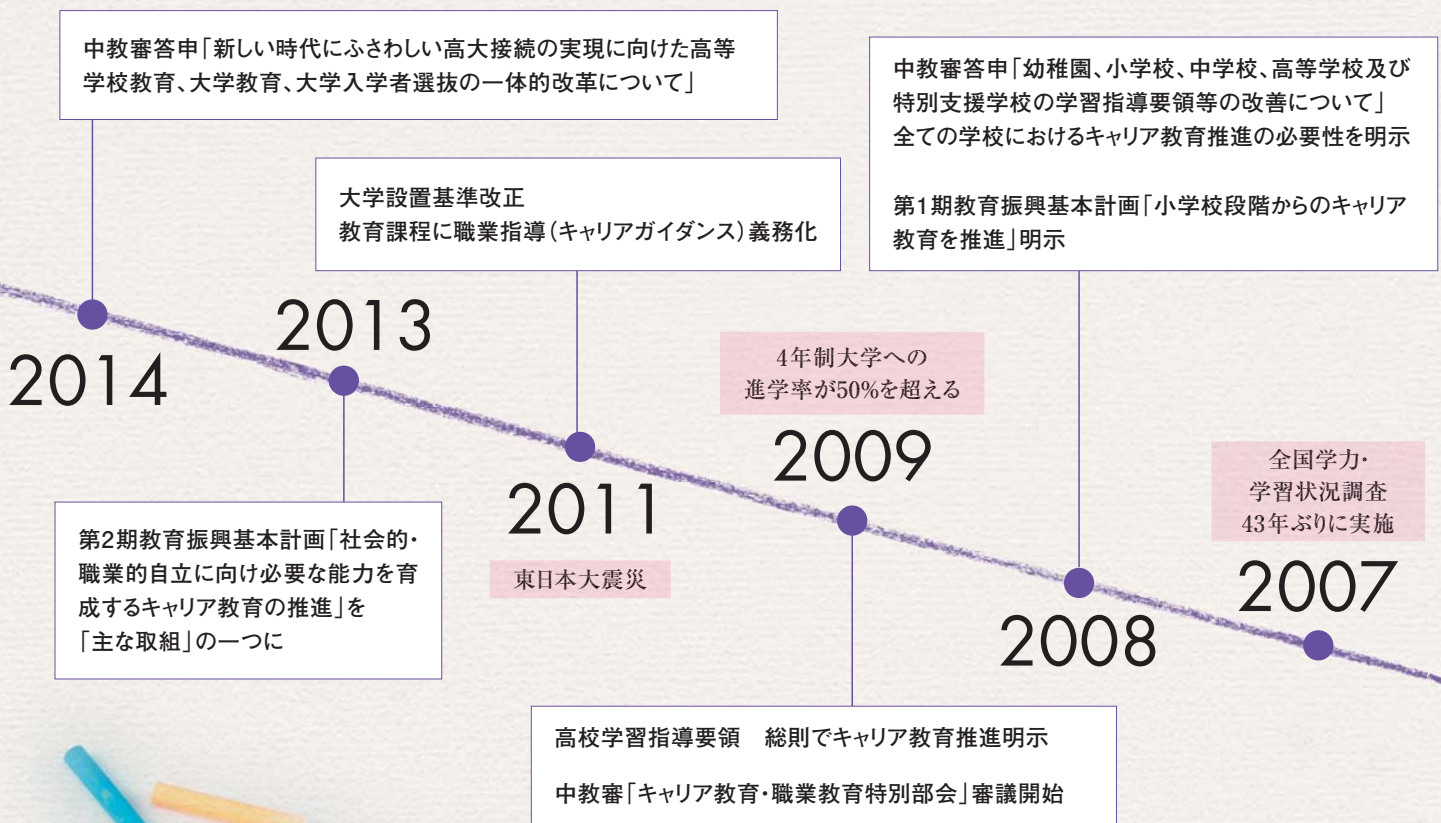
# キャリア教育は 2ndステージへ。

高校の  
進路指導・  
キャリア教育に  
関する調査  
2014



「キャリア教育元年」(2004年)と謳われてから10年。この間、リーマンショックや東日本大震災をはじめ、政治や経済、社会など、数々の大きな変化に直面し、激動の社会の中で育ってきた今の生徒たち。生徒の価値意識が変わって行く中、進路指導やキャリア教育の推進はどのように変化しているのでしょうか。全国の高校にご協力いただき、2年に一度実施している「高校の進路指導・キャリア教育に関する調査」。今回の2014年調査では、キャリア教育の取組みが大きく推進されていることが窺える結果となりました。「生徒にとって役に立っている」という回答は約9割にまで伸び、生徒の満足度も前回調査より10ポイント以上増加しています。他方、「進路指導が難しい」という回答は9割を維持し、その最大要因には「生徒の進路選択・決定能力の不足」がトップになったことも浮き彫りとなりました。また、昨年末の中央教育審議会の答申でも話題に挙げられたアクティブラーニング型授業の実施状況や、グローバル化への対応、ICTを活用した授業の導入など、授業改善の取組みについても、その実態を調査しました。この10年、キャリア教育の取組みにおいて、何ができて、何ができなかったのかを、





## 調査概要

- 全国の全日制高校4,838校の進路指導主事
- 調査期間：2014年10月6日(月)～10月31日(金)  
投函締切(11月5日(水)到着分まで集計対象)
- 調査方法：質問紙による郵送法
- 集計対象数：1,140校(回収率23.6%)

### 回答者プロフィール

- 設置者別  
国立4校(0.4%) 都道府県立788校(69.1%) 市町村区立44校(3.9%) 私立295校(25.9%) 無回答9校(0.8%)
- 高校タイプ別  
普通科単独校623校(54.6%) 総合学科単独校(移行中含む)59校(5.2%) 普通科中心で学科併設校229校(20.1%) 総合学科併設校13校(1.1%) 工業を中心とする高校67校(5.9%) 商業を中心とする高校37校(3.2%) 家政を中心とする高校4校(0.4%) 農業を中心とする高校27校(2.4%) その他61校(5.4%) 無回答20校(1.8%)
- 地域区分  
北海道81校(7.1%) 東北130校(11.4%) 北関東・甲信越134校(11.8%) 南関東192校(16.8%) 東海154校(13.5%) 北陸31校(2.7%) 関西137校(12.0%) 中国・四国129校(11.3%) 九州・沖縄143校(12.5%) 無回答9校(0.8%)

※詳細な報告書はリクルート進学総研Webサイトに掲載します

キャリア教育を牽引されてきた藤田晃之先生、  
児美川孝一郎先生に振り返っていただきながら、  
全国高等学校進路指導協議会事務局長の千葉吉裕先生に  
これからのキャリア教育の展望を語っていただきました。  
ますます変化の激しい、予測できない社会に歩み出す生徒に、  
どのように向き合っていけばいいのでしょうか。

最後に、本調査においてご協力いただいた全国の高校の  
先生方に心から感謝を申し上げますとともに、  
本調査、ならびにこの特集が進路指導・キャリア教育の  
取組み・ご指導の参考になればと願っております。

山下真司(本誌 編集長)